

あなたの思いが新基地建設を止める！

辺野古の闘い、今が正念場です・・・

マスコミ等でも明らかにされたように、辺野古新基地建設の進捗率（2023年10月現時点）約15%は辺野古側のみの工事であり、国はいよいよ軟弱地盤が存在する大浦湾側に着手しようとしています。しかし、「埋め立て承認」には重大な瑕疵があると言わざるを得ません。

国・沖縄防衛局が大浦湾側の地盤改良は必要ないと出願し、沖縄県はそれを条件に承認を行ったものであり「新たに地盤改良の変更申請・承認」を得ない限り地盤改良工事を行うことはできないはずで

す。これまで国は大浦湾側のB27地点の問題を明らかにしないまま埋め立てを辺野古側から進めるなど、既成事実を先行させてきました。

国は申請段階から軟弱地盤が存在していることを知りながら、「公有水面埋め立て」を申請し、2013年12月に仲井眞知事（当時）より認可を受けたのです。未だ埋立ての行われていない大浦湾側は、辺野古側面積の3倍以上、必要な埋立土量は5倍以上という大規模な埋立区域ということに加えて「軟弱地盤」が待ち受けているのです。しかも、沖縄戦で南部に追い詰められ、逃げ場を失い亡くなっていった多くの「犠牲者が眠る南部の遺骨土砂」を戦争のための新基地建設に使おうとしています。人道的にも許されるものではありません。

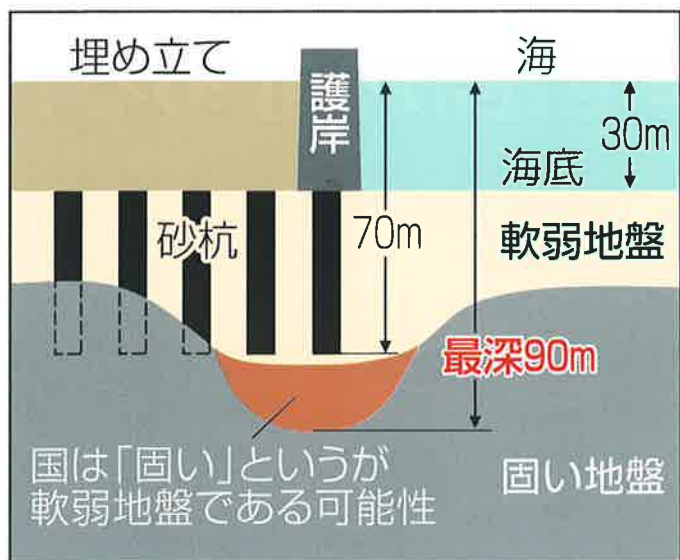
辺野古基金は、このような沖縄の歴史と思いを胸に、引き続き全国の仲間と辺野古現地をつなぐ大きな役割を担って行きます。

基金は2015年の設立から今日まで、北海道から九州まで全国各地から寄せられてきた「思い」をしっかりと受け止め、最後の最後まであきらめることなく全国の仲間と連帯し、「再び日本を沖縄を戦場」イクサバにさせない決意です。

今後ともご支援・ご協力をお願い致します。



毎月第1土曜日 県民大行動



軟弱地盤がある 埋め立て海域の断面図

辺野古新基地建設 工費さらに膨らむ恐れも

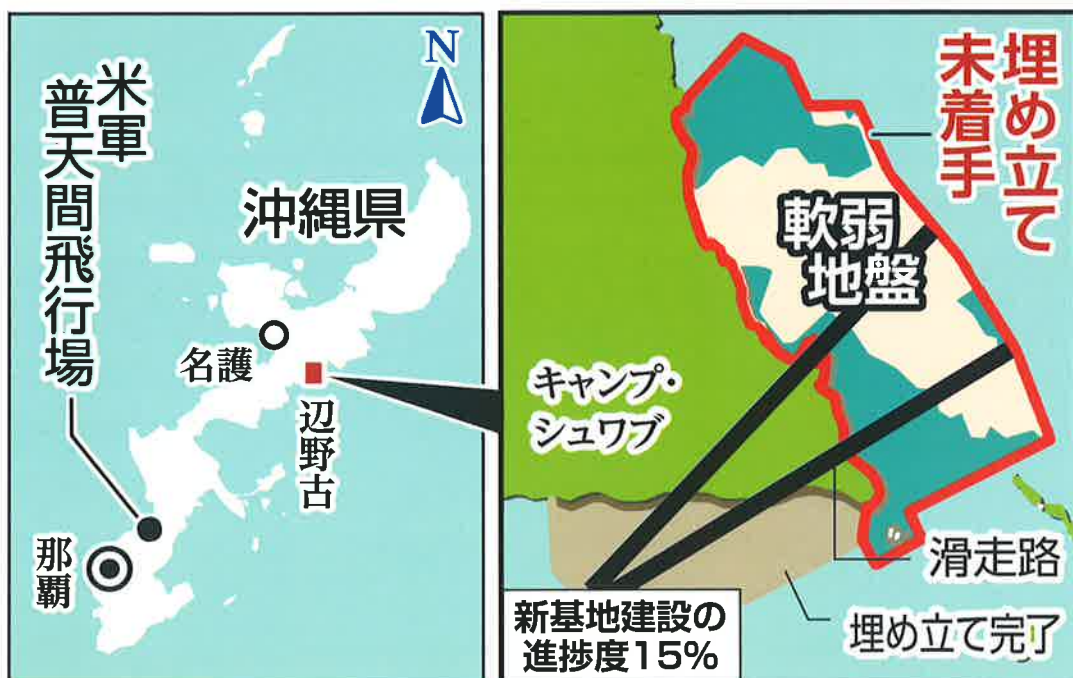


軟弱地盤等の改良工事に1.3年、総事業費2兆5,500億円にふくらむ。

当初計画
3,500
億円

2兆5,500億円

※沖縄県試算



引き続き辺野古新基地建設反対への支援をお願いします。

振込先名「辺野古基金」	店番号	振込番号 (全て普通預金です)
沖縄県労働金庫 県庁出張所	953	3406481
みずほ銀行 那覇支店	693	1855733
琉球銀行 県庁出張所	251	185920
沖縄銀行 県庁出張所	012	1292772
沖縄海邦銀行 県庁出張所	102	0082175
コザ信用金庫 那覇支店	017	2032531
沖縄農業協同組合本店	780	0024403
ゆうちょ銀行 記号		17000 13659411
ゆうちょ銀行 振込扱票		01790-5-128966

辺野古基金

〒900-0021 那覇市泉崎2丁目105-18 (官公労共済会館B1)

TEL : 098-943-6748 FAX : 098-943-6893

Hp henokofund.okinawa